

らしく

その子らしく その子のために  
あなたらしく あなたのために  
私らしく 私のために

# 千葉県こども病院

## 看護職員募集案内

CHIBA CHILDREN'S HOSPITAL NURSE RECRUITING



千葉県こども病院  
CHIBA CHILDREN'S HOSPITAL

# その子のために。

## 生きる権利



千葉県こども病院で行われている各種の医療そのものが、子どもたちの「生きる権利」のためにあります。私たちは子どもの生命(いのち)と安全を第一に考えます。

## 守られる権利



入院した子どもたちのため、ご家族の付き添いにもできるだけ対応しています。昼間にプレイルームに出られる子どもたちを見守り遊び相手にもなってくれる病棟保育士や看護助手もいます。家族には病棟での日課をお知らせし、子どもたちのケアをいっしょに行えるようにします。また、自宅が遠方にあるなど入院中に面会に来るのが大変な家族のために家族用の宿泊施設「かるがもはうす」があります。

## 千葉県こども病院は



県内の小児医療の中核機関として千葉市東部の緑の多い丘陵地に開院しました。近隣には医療機関、特別支援学校などがあります。

一般病院で対応困難な小児疾患に対する診断・治療・相談・指導を行う小児総合医療施設です。

救急医療、周産期・新生児医療、そして病状が安定してからの在宅医療への支援。あるいは緩和医療など、多面的な小児医療と小児疾患の研究活動を展開しています。

「その子らしく その子のために」をスローガンに掲げて、全職員はもとよりたくさんのボランティアの方々の協力を得ながら未来ある子どもたちの心身の健全な育成を目指します。

基本  
理念

私たちは県立の小児医療施設職員としての自覚をもち「児童の権利に関する条約」の基本理念のもと、すべての子どもの基本的人権を擁護し、すべての子どもが私たちに実現可能な最高水準の医療と保健サービスを受けられるように日々努力し、未来ある子どもたちの心身の健全な育成をめざします。

その子らしく、



参加する権利

保護者に対して行われるインフォームド・コンセントは勿論のこと、子どもたちは、自らの治療・ケアに関わる説明を受け、納得したうえで同意する「インフォームド・アセント」により、自らの診療に参加する権利を持ちます。



育つ権利



チャイルドライフ・スペシャリスト (CLS) は検査や治療を受けるときの不安やストレスを少しでも減らし、前向きに安心して医療体験を乗り越えていけるように子どもたちをサポートする専門職です。その仕事は子どもたちの育つ権利の擁護といえます。当院の「子ども・家族支援センター」は、こうした病院内の子どもの生活環境を守る部署として活動しています。また、1か月以上入院する子どもたちは「院内学級」で勉強を継続することができます。



病院の概要 (令和8年1月1日現在)

月1回のクリニックラウン ▶



【設 立】…1988年(昭和63年)10月開設

2012年(平成24年)3月周産期センター開設

【診療科】…25(内科系12科、外科系10科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線科)

【病床数】…218床(一般病棟176床、PICU9床、NICU9床、GCU15床、無菌室3床)

【職員数】…医師94名、CLS1名、遺伝カウンセラー1名、保育士22名、心理判定員3名、PT3名、OT1名、言語聴覚士3名、視能訓練士3名他多数

# 看護局の“理念”

1. 子どもの生命を尊重し、ひとりの人間としての尊厳および権利を守ります。
2. 成長発達していく子どもとその家族を支え、地域社会の中で生活していくことを支援します。
3. 人間性豊かな看護を提供します。



## 基本情報 (令和8年1月1日現在)

### 【看護職員数】…総数:351名

- 新採用者:24名
- 男性看護師:23名
- 育休・産休:25名
- 看護補助者:31名
- 保育士:22名

### 【離職率】

- 令和7年度  
正規職員:7.2%  
新卒者:4.2%

### 【看護配置】

- 一般病棟…7:1(夜間9:1) / ●PICU…2:1
- NICU…3:1 / ●GCU 6:1

### 【看護体制】

- 2交替制

### 【看護提供方式】

- チームナーシング、プライマリナーシング

### 【メンタルヘルスケア】

- 千葉県病院局では、看護職員のためのメンタルヘルスサポートシステムを導入しています。こども病院看護局では、病院局のサポートのほかにメンタルヘルス専任者を配置し支援に力を入れています。
- 休職後、職場復帰するための支援プログラムも準備されています。

# 3つの “らしく”

## その子“らしく” その子のために

その子が持つ自ら成長する力を最大限に引き出し、家族も含めてエンパワーメントするチーム医療を提供します。  
看護師も環境であることを常に考え、子どもと家族の気持ち、ケアを大切にします。  
専門的知識・技術の研鑽に努めます。

研修・学会  
参加支援

## あなた“らしく” あなたのために

一緒に働く仲間が自分らしく看護を实践でき、自己実現できるようにお互いにサポートしていく姿勢を大切にしています。

職場適応  
支援

## 私“らしく” 私のために

有給休暇の取得や時間外業務の削減に努め、ワークライフバランスを推進しています。

キャリア  
開発支援

メンタル  
ヘルス  
サポート

子育て  
支援

多様な  
勤務形態

### CNS・CN(R8.1 現在)



資格取得のための支援制度があります

#### 専門看護師

- 小児看護専門看護師
- 家族支援専門看護師

#### 特定行為研修修了看護師

- 感染管理
- 皮膚・排泄ケア

#### 認定看護師

- 感染管理
- 手術看護
- 緩和ケア
- 新生児集中ケア
- がん化学療法
- 皮膚・排泄ケア
- 摂食・嚥下障害看護
- 集中ケア

### 千葉県こども病院新人教育体制

各部署の臨床指導者が新人教育の旗振り役となって推進するとともに、新人担当看護師、実地指導者が中心となって教育・指導や相談役として支援します。さらに、グループリーダーや副看護師長、部署の全看護師は、新人看護師の横断的な支援を行います。新人看護師を中心とし、各々が役割を遂行しつつ部署全体で連携しながら、新人看護師の教育を支援していきます。

### 子ども・家族と共に考える看護計画

ご家族と一緒にお子さんを育てていくという認識のもとに、安心・安全な入院生活が送れるよう、看護計画を子ども・家族と共に立案・評価する取り組みを行っています。

# 看護力・人間力を育む 継続教育

## こども病院の人材育成の特徴

### 1 継続教育

こども病院の目指す看護の実現に欠かせない継続教育。特に「成長発達」「家族看護」「看護倫理」「コミュニケーション」「リーダーシップ」は段階別に2～5年間に渡ってプログラムされています。

### 5 合同研修・院外研修

県立病院合同研修(新採用者、臨床指導者、副看護師長、看護師長を対象)や院外研修(看護協会、自治体病院協議会など)にも積極的に参加できるよう支援体制を整えています。

### 2 キャリアパス

『千葉県立看護職員キャリア開発支援』を基盤にキャリアラダーを導入しています。目標面接を行いラダーに沿ってキャリア開発を支援しています。

### 6 看護研究

看護研究は、外部講師や認定・専門看護師による指導体制が整っています。研究のプロセス支援だけでなく発表支援も行い、毎年多数国内外で発表しています。

### 3 小児専門病院として

専任の教育担当副看護局長をおき、小児専門病院として質の高い看護を実践できる能力を育むことを主目的としています。指導者の育成にも力を入れています。

### 7 教育・支援制度

プリセプターシップとパートナー体制により、OJTの質向上、モチベーション向上、看護の質向上を図っています。

### 4 院内研修

院内研修は、“実践に結び付く”ことを主眼に置き、外部講師や豊富な専門知識・経験を持つ先輩看護師が講師となり実施しています。研修は勤務時間内に行い、参加しやすいよう勤務調整も行っています。

### 8 スペシャリストへの道

認定看護師、専門看護師などスペシャリストの道への支援制度(補助金、勤務条件など)があります。資格取得後の活動についても支援しています。

看護力・人間力を育む継続教育

## 新人看護師の 1年間



4月

- ◆新採用者初期研修  
・小児看護の基礎知識  
・技術演習
- ◆安全研修I
- ◆コミュニケーションI

職場配置

5月

- ◆成長発達I
- ◆看護倫理I
- ◆小児看護の基礎知識
- ◆記録フォローアップ
- ★フレッシュセミナー

目標面接

6月

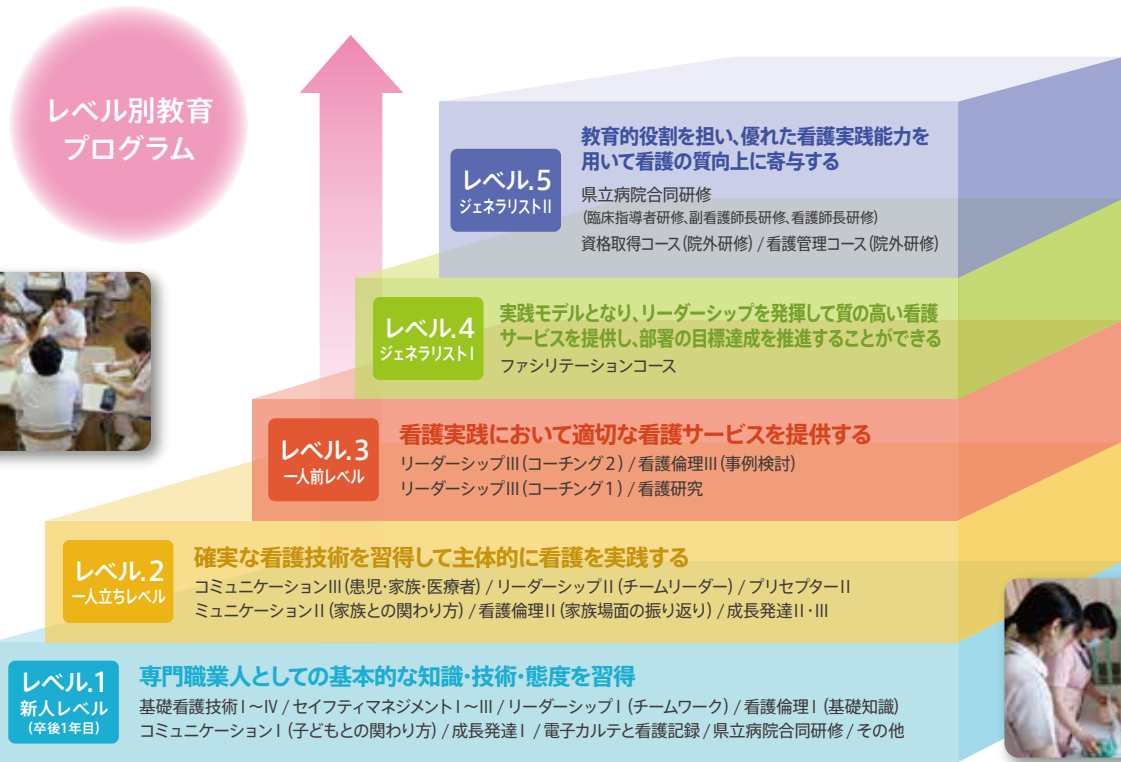
- ◆CPR研修
- ◆チーム医療
- ◆安全研修II

夜勤トレーニング

7月・8月


- ◆リフレッシュ研修
- ◆看護記録

夏季休暇



**学びたいという気持ちを  
スタッフみんなでサポートします**


**HCU副看護師長**



新人看護師の皆さんが安心して看護を実践できるように、臨床指導者をはじめ病棟スタッフ全員で応援します。「こんな勉強がしたい」「この患者さんを受け持ちたい」「この看護技術を提供したい」という皆さんの希望を聞き、サポートするための計画を立てていきます。小児専門病院でしか習得できない知識や看護技術がたくさんあります。一緒に小児看護を学んでいきましょう。

**学び、成長できる環境を  
大切にしています**

**PICU臨床指導者**



ICUでは、安心して学びながら成長できるように、先輩看護師が丁寧にサポートする体制を整え、働きやすい職場作りにも力を入れています。小児看護や、集中治療に必要な急性期看護の知識や技術を段階的に学べるように指導を行ない、一人ひとりのペースに合わせて成長を支えています。



# 先輩看護師からの声

## 私たちは、子どもたちの笑顔を

2024年卒

手術室



私は看護学生の頃から、子どもが好きで小児看護に携わりたいと思い、千葉県子ども病院に就職を決めました。配属は手術室になりましたが、正直、看護師としての業務内容など何もかもわからず、手術室という特殊な環境の中で、戸惑い落ち込む日もありました。しかし、プ

リセプターを含め、優しく指導してくださる先輩方のおかげで、業務にも慣れ、手術室看護師としての役割を少しずつ理解ができ始めた頃から、充実した毎を送り自分自身の成長を感じています。

手術室は限られた関わりの中で、子ども・家族の不安な気持ちを理解し、寄り添い軽減できるよう、手術を行う子どもの情報収集から始まり、術前訪問時に直接子どもに接し、時には手術室に見学に来てもらい、子ども個々に応じた看護ケアを行っています。また、子ども・家族

が安心して手術に臨めるように、他職種で情報を共有し、それぞれの専門性を活かし、一貫した関わりを行えるように意識しています。

手術室は、様々な疾患や術式、麻酔による影響、器械出し技術、外回り看護など、学習することが多く大変ですが、手術室ならではの子どもの成長・発達を見届けられる喜びを感じ、看護師としても成長できる場所であることに魅力を感じており、手術室に配属されて心から良かったと思います。

2024年入職

6階病棟



私は、こどもの頃に手術経験があり、看護師の存在がとても心強く安心したことを覚えていたため、小児看護に携わりたく就職を希望しました。配属後は、目標としていた周手術期看護に加え緊急入院や人工呼吸器、腹膜透析等を導入している患者を対象に日々看護を提供しています。突然の発症となった患者やご家族とかかわることが多いため、家族の抱える不安や退院後の生活にスムーズに移行できるようコミュニケーションを大切にしています。また、意思を伝えられない患者もいるため、モニター値や表情から苦痛に気付けるよう心がけています。様々な診療科を担当しているため学習は大変ですが、先輩方の的確で丁寧な指導のおかげでたくさん経験を積むことができています。

辛い期間をともに乗り越え、細やかな視点で様々な問題点に気づくことができる看護師になれるよう日々努力していきたいと思っています。

辛い期間をともに乗り越え、細やかな視点で様々な問題点に気づくことができる看護師になれるよう日々努力していきたいと思っています。

5階東病棟



私は手術室での経験をを経て、現在は循環器や小児外科の患者がいる病棟で勤務しています。新しい分野への挑戦に不安もありましたが、先輩方が丁寧にフォローしてくださり、相談しやすく、温かい雰囲気の中で安心して学びながら成長する環境に支えられてきました。また、感染管理認定看護師教育課程で学ぶ機会をいただき、医療関連感染の予防や手術部位感染を防ぐための視点、小児特有の感染管理など、安全な療養環境づくりの重要性を深く学びました。子どもたちが安心して治療を受けられる環境を整えることはもちろん、不安を抱えるご家族の気持ちにも寄り添うことを大切にしたいと思いながら働いています。これからも学びを日々の看護に活かしながら、子どもと家族に安心を届けられる看護を実践していきたいと考えています。

感染管理特定認定看護師

感染管理室



小児専門病院である当院には、基礎疾患があり入退院を繰り返す患者さんや、流行性ウイルス疾患により入院する患者さんなどがいます。職員は治療のため、子どもへの密接・密着の機会が多い

です。一方、子どもは体の抵抗力が弱いいため、感染症を持ち込まない・拡げないよう、感染防止対策をすることがとても大切です。当院には、患者さん・ご家族・職員を感染症から守るための部門として感染管理室が設置されています。私は、2025年4月から感染管理室専従看護師として、日々業務にあたっています。院内の感染症を予防するための仕組みづくりや、各部門からの相談対応、職員の教育、地域の機関との連携などが主な業務

です。しかし、感染対策チームだけでは患者さんを守ることはできず、職員が一人丸となって感染対策に努めること、つまりは現場の職員と連携することが不可欠であり、信頼関係の構築を大切にしています。そして、患者さんが感染症を合併せずに本来の病気の治療が予定通りに受けられること、早期に退院できることが私の仕事のやりがいであり、目指す理想の感染管理です。

# 守るために頑張っています。

4階東病棟



私が所属する4階東病棟は主に白血病や再生不良性貧血などの血液疾患のある子どもが入院している病棟です。入職当初は血液疾患のある子どもとい

えば暗いイメージがありましたが、病棟に入った途端元気な子どもたちの声が聞こえるほど活気のある病棟で、毎日、子どもたちの笑顔に癒され楽しく働いています。もちろん、治療中は化学療法等によって髪が抜けてしまったり、吐いてしまったり子どもにとって辛い体験を目の当たりにすることも多くありますが、看護師として子どもの苦痛や不安が最小限になるよう心がけ看護を行っています。また、血液疾患と診断された子どものご家族はとても動揺され、不安を抱えられて

います。ご家族の不安が少しでも軽くなるようご家族とのコミュニケーションも大事にし、治療中のサポートや退院後の生活指導などをチームとして取り組んでいます。

日々の業務はとても忙しく、命と向き合う大変な仕事ですが、先輩方の丁寧な指導や支援のおかげで日々看護師として成長することができ、看護の魅力を感じています。

2023年卒

NICU



私は5年間HCUで看護をしてきました。重症度が高く、長期での入室を余儀なくされる中で、子ども自身が病気をもちながらもその子らしく、1日1日が少しでも良いものとなるにはどうすればよいか、ご家族と共に考えさせてもらう機会が多くありました。そういった経験から、病気を持つ子どもの家族への支援をもっと学びたい気持ちが高まり、出生直後からの親子の分離が生じてしまうNICUへの異動を希望しました。

NICUでは出生後、家族関係の再構築のタイミングで治療が開始されます。安静保持の必要性や、様々な医療デバイスの装着から、ご家族が自らの手で育児ケアを行う機会がもちにくく、我が子に触れていいのかわみながらも家族は懸命にできることを探しています。そんな中で看護師は子どもと家族をつなぐ架け橋となると思っています。まだ経験が浅くNICUならではの看護の難しさを感じる日々ですが、スタッフみんなで協力し、病気や障がいを持ちながらも子どもと親が家族となっていく過程を支えていきたいです。

私は5年間HCUで看護をしてきました。重症度が高く、長期での入室を余儀なくされる中で、子ども自身が病気をもちながらもその子らしく、1日1日が少しでも良いものとなるにはどうすればよいか、ご家族と共に考えさせてもらう機会が多くありました。そういった経験から、病気を持つ子どもの家族への支援をもっと学びたい気持ちが高まり、出生直後からの親子の分離が生じてしまうNICUへの異動を希望しました。

2019年入職

こども・家族支援センター



こども・家族支援センターでは、お子さんとご家族が安心して医療を受けられるように、入院前から退院後の生活を視野に入れて、地域でその子らしく生活ができるように支援しています。お子さんとご家族の思いをくみ取り、ニーズに合った退院支援を行うことを心がけています。そのため、医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、チャイルド・ライフ・スペシャリストなどの多職種と連携してお子さんの支援を行っています。また、地域の訪問看護との連携も図り、医療・ケアの継続ができるように調整を行っています。

2015年入職

成人移行支援室



高度専門的な小児医療を提供する当院では、病気や障害をもちながら成長発達される子どもが多くいらっしゃいます。子どももそのご家族も、病気とうまく付き合いながら生活ができるように、今、目の

前の丁寧な看護ケアと共に、さらにその先のことを考えた支援を大切にしています。

また、子どもの成長発達段階に合わせて、子どもが自分の病気や治療を理解して自立的に体調管理ができるように、医師や看護師が段階的・計画的な支援を行う「成人移行支援」の院内システム構築にも携わっています。令和7年度より当院では千葉県内の小児慢性特定疾病児童等を対象とした自立支援の相談窓口の委託を受け、院外からの相

談にも対応しています。子どもたちや親御さんの話をよく聴き、地域保健師や院外施設との連携を図って、問題解決につなげられるように活動しています。

看護スタッフの院内継続教育や看護研究支援、院外の大学や患者会などで教育的な活動をすることもあります。様々な場での活動は対象者のニーズも様々で難しいですが、小児看護の質向上という大きな視点をもって取り組んでいます。

小児看護専門看護師

# Topics

—あなたらしく  
わたしらしく—

## 休日・休暇

平均日数：136～140日

### <休日>

●休日に勤務した場合は代休がとれます

- ・土曜及び日曜
- ・祝日
- ・年末年始(12/29～1/3)6日間

### <休暇>

- ・年次休暇(初年度20日間)
- ・療養休暇
- ・特別休暇(夏季休暇6日、結婚休暇、産前・産後休暇、育児休暇、子育て休暇、etc.)
- ・看護休暇



## 職員寮

1DK 4,300～4,400円/月



- フローリング4.5畳+和室6畳
- キッチン、バス、トイレ、エアコン
- 病院敷地内に5階建ての寮が2棟あります。

## 子育て支援

- 育児休暇
- 育児短時間勤務制度  
養育している子が小学校に就学するまでの間、短時間勤務を選択することができます。
- 学校行事等への参加のための特別休暇
- 院内保育園(病後児保育あり)



## 災害時小児・周産期リエゾン研修受講者:4名

- 災害時に、小児、周産期医療に関する情報を集約し、調整する役割をもちます。



## 学会発表

- 看護研究結果を、院外の学会や研究会で発表できます。  
発表は出張扱いになります。  
直属の師長や仲間たちが同行し、支援してもらえます。  
苦労してまとめた成果を発表した後は、充実感が満たされます。

## その他

- 互助会より、宿泊入園等利用助成、観劇会・スポーツ観戦利用助成等があります。
- 新規採用等に伴い住所の移転を行った場合には移転費用の支給があります。



▲リフレッシュ研修

## 出身校

入職5年以下の看護職員

(令和6年4月1日現在)

### 千葉県内

: 亀田医療技術専門学校 / 亀田医療大学 / 君津中央病院附属看護学校 / 山王看護専門学校 / 淑徳大学 / 聖徳大学 / 千葉医療センター附属千葉看護学校 / 千葉県立鶴舞看護専門学校 / 千葉県立野田看護専門学校 / 千葉県立保健医療大学 / 千葉県立幕張総合高等学校 / 千葉市青葉看護専門学校 / 千葉大学 / 千葉中央看護専門学校 / 帝京平成大学 / 国際医療福祉大学 / 東京医療保健大学 / 東都大学 / 船橋市立看護専門学校

### 千葉県外

: 青森県立保健大学 / 秋田大学 / 岩見沢市立高等看護学院 / 岡山県立倉敷中央高等学校 / 金沢大学 / 吉備国際大学 / 杏林大学 / 高知大学 / 埼玉県立大学 / 札幌医科大学 / 島根大学 / 純真高等学校 / 湘央学園浦添看護学校 / 聖隷クリストファー大学 / 仙台青葉学院短期大学 / 中部学院大学 / 天使大学 / 東京医科歯科大学 / 長崎玉成高等学校 / 名古屋大学 / 新潟県立看護大学 / 日本赤十字九州国際看護大学 / 日本赤十字広島看護大学 / 弘前学院大学 / 福岡県立大学 / 福岡女学院看護大学 / 別府溝部学園高等学校 / 北海道医療大学 / 北海道美唄聖華高等学校 / 山形県立山野辺高等学校 / 山形大学大学院 / 四條畷学園大学 / 近畿大学附属福岡高等学校 / 岩手県立大学 / 弘前医療福祉大学 / 富山県立大学 / 創志学園高等学校 / 愛媛県立医療技術大学

# Information



本館	
7F 一般病棟	院内学級
6F 東:一般病棟	西:一般病棟
5F 一般病棟	
4F 東:一般病棟、無菌室	西:一般病棟
周産期センター	
分娩室、分娩手術室	3F 中央手術室、PICU、NICU、GCU
産科病棟	2F 中央検査室、医療安全管理室、管理部門
産科外来、遺伝相談室、システム管理室	1F 中央受付、各科外来、薬剤部、生理検査、放射線科、栄養科、こども・家族支援センター、売店、食堂他

このシンボルマークは、職員からの公募方式をとり全職員の投票にて選出されました。親と子のきずなを基調として、球は大地(千葉県)を、またその中に千葉県を象徴する海(波)があらわれており、さらにこれらを取り巻いている輪は医療のネットワークを示しています。このシンボルマークが千葉県における小児医療の象徴となることは勿論、国際的象徴のひとつになるよう期待と覚悟が込められています。

● 千葉こども病院広域図



● 千葉こども病院周辺図



**車で来院される方へ**

最寄インター

- ▶ 千葉外房有料道路誉田IC
- ▶ 千葉東金有料道路大宮ICまたは高田IC
- ▶ 京葉道路松が丘ICまたは蘇我IC

**電車で来院される方へ**

最寄駅

- ▶ JR外房線鎌取駅  
北口から千葉中央バス  
「千葉リハビリセンター」行き「こども病院」下車(所要時間10分)



千葉県こども病院

〒266-0007 千葉県千葉市緑区辺田町579-1

TEL. 043-292-2111(代) FAX. 043-292-3815

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kodomo/index.html>

看護局 E-mail : Kodomo\_kango@mz.pref.chiba.lg.jp